

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2024年11月19日

事業者情報					
事業者名		京急開発株式会社			
代表者 職・氏名	職名	取締役社長			
	氏名	渡辺 静義			
ホームページ URL (任意)		https://www.keikyu-kaihatsu.co.jp/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>●事業活動に伴う環境負荷低減や環境配慮への取り組みについては、エネルギーや資源の「使用抑制」・「再生可能エネルギーへ代替」・「循環利用」により低減や削減を目指します。</p> <p>●自社の利益のみを追求するのではなく、従業員、顧客や取引先、地域といったあらゆるステークホルダーとの共存を考え、実現し、すべてのステークホルダーに対する生活の豊かさへの貢献、特性を活かした地域への持続的発展を目指します。</p> <p>●環境・社会に関する取り組み・課題解決にあたり、企業価値を高め安定的で継続的な企業経営のため、経営の透明性・公正性を明らかにする健全な企業統治を目指します。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可）          （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
○●	○●	○	○●		
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任つかう責任</p> 
○●	○			○●	○
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナリーシップで目標を達成しよう</p> 	
○●	○●	○●		○	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
1・2	備蓄防災食材の一部を寄付	
4・12	「キッズフリマ」イベントを開催	
7・13	環境に配慮した温泉供給システムや給湯設備の採用によるCO2排出削減の取組み(天然温泉平和島)	
3・4・11	大田区内少年野球連盟・大森FCの協賛企業として活動を支援	地域住民・子供を対象とし、スポーツを「する・見る・支える」体験の場を創出
4・11	「はたらく乗り物大集合! イベント」を開催(BIGFUN 平和島)	
7・11・13	法人向けEVスクーターのステーションを設置(BIGFUN 平和島)	
1・2・3	おおたフード支援ネットワーク主催によるフードドライブを開催 寄附された食料品と同量の米を大田区社会福祉協議会に寄贈	
12	一部の国・地域の日本産水産物への輸入規制により、輸出向け食材が余剰になったことを受け、フードロス削減および国内の漁業関係者支援を目的に、北海道の水産会社から帆立貝を200kg購入	
4・8・11・17	中学校の職場体験に協力 (天然温泉平和島・平和島スターボウル・黒湯天然温泉みうら湯)	
7・13	太陽光発電システムの導入 (BIGFUN 平和島)	
11・14・15	スポーツ×ゴミ拾いの競技「スポGOMI in HEIWAJIMA」を開催	
14	海を未来に引き継ぐ「海と日本プロジェクト」の活動を推進してい	

	る日本財団を支援するための募 金・寄付を実施	
1・2・11		貧困家庭・一人親家庭の支援 (物資による支援・寄付・子供の 「居場所」作り等)
4・7・11・12・ 13・14・15 他		SDGs への興味・理解を促すイベン トの実施 (ワークショップ・体験型イベント等)
11		地域での経済活動や文化活動によ り地域活性化を図る。 (地域資源の活用・イベントの連携)
7・13		CO2 排出削減への継続取組 (エネルギー利用の効率化・削減)